

2007年度

日本魚類学会年会

プログラム

The 40th Annual Meeting, 2007

期 日：2007年10月5日(金)～10月8日(月)

場 所：北海道大学学術交流会館

日本魚類学会

The Ichthyological Society of Japan

2007 年度日本魚類学会年会タイムスケジュール

- 口頭発表：第1会場（1階 小講堂）
- 口頭発表：第2会場（2階 大講堂）
- ポスター発表：第3会場（1階 第1会議室）
- 総会：第2会場（2階 大講堂）
- 日本魚類学会 2007 年度奨励賞受賞講演：第2会場（2階大講堂）
- 休憩室：1階 ホール，2階 ホワイエ・ラウンジ
- オークション：1階 第5会議室

10 月 5 日（金）

- 12：00～14：30 編集委員会：1階第4会議室
- 15：00～17：00 評議員会：第1会場（1階 小講堂）

10 月 6 日（土）

	8:30	9:00	10:15	10:30	12:00	14:00	16:00	16:10	17:30	18:00	18:30	20:30
口頭発表 第1会場	受 付	分類 1-5	休 憩	分類 形態 6-11	昼 食	形態 分子遺伝 分子系統 12-19	休 憩	総 会		受賞 講演	移 動	懇親会 北海道大学 福利厚生会 館北部食堂
口頭発表 第2会場		生態 42-46		生態 47-52		生態 53-60						
ポスター 発表 第3会場		ポスター展示 80-185		ポスター 発表 (奇数)		ポスター展示 80-185						
					13:00	14:00						

- 12：30～14：00 自然保護委員会：1階第4会議室

10月7日(日)

	8:30	9:00	10:15	10:30	12:00	14:00	15:00	15:15	16:15	16:30	17:15
口頭発表 第1会場	受 付	分子遺伝 分子系統	休 憩	分子遺伝 分子系統 系 統	昼 食	分布 魚類相	休 憩	分 布 魚類相 生理・組織	休 憩	生理・組織	
		20-24		25-30		31-34		35-38		39-41	
口頭発表 第2会場		生 態	生 態	卵・稚仔		卵・稚仔					
	61-65	66-71	72-75	76-79							
ポスター 発 表 第3会場	ポスター展示 80—185			ポスター 発 表 (障数)	ポスター展示 80—185						
					13:00	14:00				17:00	

12:30~14:00 男女共同参画懇談会：1階第4会議室

10月8日(月)

	8:30	9:00					17:00	17:30
第1会場	受 付	シンポジウム タナゴ亜科魚類の繁殖生態： 適応的な産卵資源利用とその進化						
第3会場		受 付	シンポジウム 世界の海水・淡水カジカ類における 多様性，適応と進化					
第2会場			公開市民講座 川の自然生態系と在来魚を守る —知床を含む北海道の現状と将来					
	9:00	10:00					16:30	

この講演要旨は国際動物命名規約で規定する出版物には相当しない。

研究発表プログラム

口頭発表

(1 演題の持ち時間は、発表 12 分と質疑 3 分の合計 15 分。共同発表者のうち○印は演者。)

口頭発表第 1 会場

10 月 6 日 (土)

午前の部 9:00~10:15 (分類)

- 1 9:00~ サンゴ海とタスマン海から採集されたアネサゴチ属魚類の一未記載種
○今村 央 (北大総合博)
- 2 9:15~ カジカ科 *Stelgistrum mororane* のコオリカジカ属 *Icelus* としての有効性
○鶴岡 理・矢部 衛 (北大・院水産)
- 3 9:30~ いわゆる大西洋クロマグロ、太平洋クロマグロの適切な標準和名について
○武藤文人・山田陽巳 (遠洋水産研究所)
- 4 9:45~ 日本海北部から採集された伸長対鰭をもつタウエガジ科の 1 未記載属・種
○篠原現人 (国立科博)・矢部 衛 (北大院水産)
- 5 10:00~ 東部太平洋と大西洋におけるイスズミ属魚類 (イスズミ科) の分類学的再検討 (予報)
○坂井恵一 (石川のと海洋)・中坊徹次 (京大総博)

休憩 10:15~10:30

午前の部 10:30~12:00 (分類, 形態)

- 6 10:30~ 東アジアにおけるメイタガレイ属の分類学的再検討
○鈴木章太郎 (京大院農)・川島隆寿 (島根県水産課)・中坊徹次 (京大総博)
- 7 10:45~ ニューカレドニアから採集されたベロガレイ科ツキノワガレイ属の 1 未記載種
河合俊郎 (国立科博)・○尼岡邦夫 (北大)・Bernard SERET (MNHN)
- 8 11:00~ 西部太平洋産アカグツ科アカフウリュウオ属およびアカグツ属の 2 未記載
○何 宣慶 (台湾海洋大)・遠藤広光 (高知大理)・酒巻一修 (建設環境研)・
邵 廣昭 (中央研究院)
- 9 11:15~ インドネシア・スラウェシ島北部から得られたカタクチイワシ科魚類の 1 未記載種
○木村清志・堀 耕友 (三重大院水実)・渋川浩一 (長尾自然環境財団)
- 10 11:30~ 北海道勇払原野で採集された特異な形態のフナ
○伊藤毅彦 (近大院農)・藤田朝彦・細谷和海 (近大農)
- 11 11:45~ タイワンアカハラ *Candidia barbata* の頭部に見られる解剖学的特徴
○森宗智彦 (近大院農)・福田豊章 (近大農)・足羽 寛 (京大院理)・細谷和海 (近大農)

日本魚類学会奨励賞 受賞講演

「ヤツメウナギ類における系統進化と種分化プロセス」

山崎裕治 (富山大院理工)

時間 17:30~18:00 (総会終了後) 場所 第 2 会場 (2 階 大講堂)

日本魚類学会論文賞

「Molecular phylogenetic analyses of snakeheads (Perciformes: Channidae) using mitochondrial DNA sequences」

李霞 (名古屋大理)・Prachya Musikasinthorn (カセサート大)・熊澤慶伯 (名古屋大理)

「Peripheral nervous system of the ocean sun fish *Mola mola* (Tetraodontiformes: Molidae)」

中江雅典 (国立科博)・佐々木邦夫 (高知大理)

午後の部 14:00~16:00 (形態, 分子遺伝・分子系統)

- 12 14:00~ タナゴ亜科における腸の種間比較
○山野ひとみ (近大院農)・細谷和海 (近大農)
- 13 14:15~ 由良川水系におけるメダカ南北集団の遺伝的・形態的差異
○久米幸毅 (近大院農)・吉田真一 (日メンエンジニアリング)・細谷和海 (近大院農)
- 14 14:30~ ザラビクニンの脳, 脳神経, 特に側線系について
○加藤 健・山本直之・宗宮弘明 (名大生命農)
- 15 14:45~ *Acanthogobius* and *Tridentiger* (Teleostei: Gobiidae) in California compared to original Asian populations
○Natascha Miljkovic (長大)
- 16 15:00~ 魚類骨格形成と進化: 発生学, 分子遺伝学, ゲノム研究のインパクト
○三宅 力 (ベナロヤ)
- 17 15:15~ AFLP 法に基づくイワメとアマゴの混棲集団の集団構造分析
○近藤卓哉 (西淡魚研)・高橋 洋・竹下直彦 (水大校)
- 18 15:30~ 沖縄産アミアイゴとゴマアイゴのミトコンドリア調節領域の塩基配列分析による遺伝的集団構造
○岩本健輔 (琉球大院理工)・竹村明洋 (琉球大熱研セ)・吉野哲夫・今井秀行 (琉球大理)
- 19 15:45~ ミトコンドリア DNA データで検出された北海道周辺におけるハタハタの地域集団
○白井 滋 (日本海区水研)

10月7日 (土)

午前の部 9:00~10:15 (分子遺伝・分子系統)

- 20 9:00~ 両性生殖4倍体シマドジョウ類の親種の推定
○斉藤憲治 (東北水研)・Wei-Jen CHEN (セントルイス大)・中島 淳 (九大院農)・Richard L. MAYDEN (セントルイス大)
- 21 9:15~ ホトケドジョウの北関東集団における遺伝的集団構造
○相木寛史・高山雄彦・間野伸宏・小牧 弘・廣瀬一美 (日大生物資源)
- 22 9:30~ 本州中部のカマツカにおける大きく分化した mtDNA の集団内多型
渡辺勝敏・○富永浩史・柿岡 諒 (京大院理)・森 誠一 (岐阜経済大)
- 23 9:45~ カゼトゲタナゴとスイゲンゼニタナゴの系統地理
○三宅琢也 (三重大院生資)・中島 淳・鬼倉徳雄 (九大院農)・池本茂豊 (岡山県環境保全)・河村功一 (三重大院生資)
- 24 10:00~ 北イタリア産ヨーロッパタナゴ (*Rhizodus seriseus amarus*) の幾つかの染色法と NORs 多形に見られる細胞遺伝学的特徴
Angelo Libertini (CNR-ISMAR)・Massimiliano Rampin (Univ. of Padua)・Luciana Sola・Annarita Rossi (Univ. of Rome 1)・飯島幸次 (日々輝学園高)・○上田高嘉 (宇大教育)

休憩 10:15~10:30

午前の部 10:30~12:00 (分子遺伝・分子系統, 系統)

- 25 10:30~ イトヨ味覚受容体遺伝子 T1R2 の著しい多様化とその起源について
○橋口康之・西田 睦 (東大海洋研)
- 26 10:45~ GEDIMAP: 日本産淡水魚類の遺伝的多様性データベース
○渡辺勝敏 (京大院理)・鹿野雄一 (九大工院)・高橋 洋 (水大校)・
柿岡 諒 (京大院理)
- 27 11:00~ フグ目魚類における後頭神経と脊髄神経腹側枝—神経観察のススメー
○中江雅典 (国立科博)・佐々木邦夫 (高知大理)
- 28 11:15~ キス科魚類の系統分類学的研究
○加賀達也 (北大院水産)・今村 央 (北大総合博)・仲谷一宏 (北大院水産)
- 29 11:30~ コイ目魚類の大系統解明プロジェクト (Cypriniformes Tree of Life): その進展と成果
○宮 正樹・佐土哲也 (千葉中央博)・斎藤憲治 (東北水研)・西田 睦 (東大海洋研)
- 30 11:45~ Molecular systematics of the deep-sea alepocephaliform fishes (Teleostei) based on whole
mitogenome sequences
○Sébastien Lavouè (Univ. of Tokyo)・Masaki Miya (Nat. Hist. Mus., Chiba)・Jan Poulsen・
Peter Møller (Zool. Mus., Copenhagen)・Mutsumi Nishida (Univ. of Tokyo)

午後の部 14:00~15:00 (分布・魚類相)

- 31 14:00~ 奈良県大和川水系におけるメダカの生息状況とヒメダカからの遺伝子移入
○小山直人・久米幸毅・北川忠生 (近大院農)
- 32 14:15~ 日本におけるカラドジョウの生息状況の遺伝学的調査
○丸山弘明・原田泰志 (三重大院生資)・北川忠生 (近大院農)
- 33 14:30~ 知床半島の浅海魚類相調査
○矢部 衛 (北大院水産)・野別貴博 (知床財団)・楠目祐子・鶴岡 理・田城文人・
笹原良平・山本みつ美・山中智之 (北大院水産)・八幡知基 (北大院環境)
- 34 14:45~ 三重県五十鈴川の魚類相
○佐藤達也・淀 太我 (三重大院生資)・木村清志 (三重大院水実)

休憩 15:00~15:15

午後の部 15:15~16:15 (分布・魚類相)

- 35 15:15~ 地域群としての伊豆半島産アマゴ
○川嶋尚正・阿久津哲也・霜村胤日人 (静岡水技研)
- 36 15:30~ ゼニタナゴの危機的状況と保全
○杉山秀樹 (秋田農技セ水産)・新井良一 (東大総研博)
- 37 15:45~ インレ湖 (ミャンマー, シャン州西部) における外来魚種侵入の現状
○プラチャー・ムシカシントン (カセサート大)
- 38 16:00~ Aerial respiratory vasculatures in the intertidal air-breathing eel goby, *Odontamblyopus*
lacepedii (Gobiidae: Amblyopinae)
○Tomas Gonzales (長大)

休憩 16:15~16:30

午後の部 16:30～17:15 (生理・組織)

- 39 16:30～ キントキダイ科魚類の発音系に関する研究
○西原大輔・大貫敦嗣・山本直之・宗宮弘明 (名大生命農)
- 40 16:45～ カサゴ目フサカサゴ科ハチ *Apistus carinatus* の発音系
○大貫敦嗣・山本直之・宗宮弘明 (名大生命農)
- 41 17:00～ サケ科魚類数種における飼育水のL-キヌレニン濃度
○山家秀信 (東農大生物産業)・金野昭平 (海洋大)・北村章二 (国際農研セ)・
山田美穂・鹿間俊夫・中村英史・鈴木満平 (水研セ中央水研)

口頭発表第2会場

10月6日(土)

午前の部 9:00~10:15(生態)

- 42 9:00~ ホンモロコ・タモロコ間に見られる摂餌・遊泳関連形質の適応的変異の遺伝的支配
○小北智之・田中久範(福井県立大)・根本守仁(滋賀水試)
- 43 9:15~ 琵琶湖のオオクチバス2亜種混生集団の遺伝解析
○蔵本泰輔・竹下友喜・若畑勇人(近大院農)・遠山剛志・淀 太我(三重大院生資)・北川忠生(近大院農)
- 44 9:30~ 琵琶湖におけるオオクチバス2亜種混生集団の年齢と成長
○淀 太我・遠山剛志(三重大院生資)・蔵本泰輔・若畑勇人・北川忠生(近大院農)
- 45 9:45~ ダム湖におけるオオクチバス、ブルーギルの分布状況とその要因
○大杉奉功・五十嵐崇博((財)ダム水源セ)・西田守一・浅見和弘(応用地質(株))
- 46 10:00~ 設置型魚類自動捕獲器ギルジゴクのブルーギルに対する捕獲効果
○片野 修・坂野博之(中央水研)・VerkovBoris(東京海洋大)

休憩 10:15~10:30

午前の部 10:30~12:00(生態)

- 47 10:30~ 琵琶湖内で漁獲されるサツキマスの由来とビワマスとの交雑の状況
○桑原雅之(琵琶博)・井口恵一郎(中央水研)・高橋 洋(水大校)・亀甲武志(滋賀県)・来見誠二(今津中)
- 48 10:45~ 分断された生息地に隔離されたイワナの長期個体群動態
○井口恵一郎(中央水研)・沢本良宏(長野水試)・北野 聡(長野環境保全研)・山本 聡・河野成美・川之辺素一(長野水試)・木曾克裕(西水研)・伊藤 明(JIRCAS)・前川光司(北大フィールド)
- 49 11:00~ 河川性イワナ個体群における性による移動パターンの違い
○佐藤拓哉・原田泰志(三重大院生資)
- 50 11:15~ 支笏湖流域における在来種アメマスに及ぼす外来種ニジマスとブラウントラウトの影響
○三沢勝也(ドーコン)・菊池基弘(千歳ふるさと館)・妹尾優二(流域生態研究所)・原内 裕(ドーコン)・帰山雅秀(北大院水産)
- 51 11:30~ 当歳魚における在来サケ科魚類と外来サケ科魚類のハビタット利用様式の比較
○長谷川功(中央水研)・前川光司(北大FSC)
- 52 11:45~ アユ雄個体の二次性徴発現レベルにおける海産・湖産アユ間の変異の実態
○鶴田哲也・井口恵一郎(中央水研)

午後の部 14:00~16:00 (生態)

- 53 14:00~ 和歌山県太田川における両側回遊魚ボウズハゼの加入時期と海洋生活期間
○飯田 碧・渡邊 俊・塚本勝巳(東大海洋研)
- 54 14:15~ 耳石微量元素分析によって明らかにされた日本に生息するヨシノボリ属の多様な回遊履歴
○綱川孝俊(北里大水)・新井崇臣(東大海洋研)
- 55 14:30~ 谷戸水路におけるホトケドジョウ *Lefua echigonia* の産卵場条件
○樋口文夫(横浜市環科研)
- 56 14:45~ ホトケドジョウ *Lefua echigonia* の季節的個体群動態と移動
○榎本亜矢・相木寛史(日大生物資源)・勝呂尚之(神奈川内水試)・寺田浩之(生田ホトケドジョウを守る会)・間野伸宏・廣瀬一美(日大生物資源)
- 57 15:00~ 北太平洋中西部におけるクロカジキの産卵海域と個体群構造
○下瀬 環・余川浩太郎・齋藤宏和(遠洋水研)・立原一憲(琉球大理)
- 58 15:15~ 低水温耐性実験から見た北海道南部に出現するセトヌメリ個体群の脆弱さ
○田中善規(北大院環境)・宗原弘幸(北大FSC)
- 59 15:30~ 愛媛県重信川流域におけるヒナインドジョウの分布様式
○川西亮太・井上幹生・三宅 洋(愛媛大院理工)・清水孝昭(愛媛中予水試)・高木基裕(愛媛大農)
- 60 15:45~ 霞ヶ浦で増加しているオオタナゴの分布特性
○富永 敦・荒山和則(茨城内水試)・半澤浩美(茨城県漁政課)

10月7日(日)

午前の部 9:00~10:15 (生態)

- 61 9:00~ 与那国島田原川に定着したナイルティラピアの河川内分布と成長
○石川哲郎・下瀬 環・立原一憲(琉球大理)
- 62 9:15~ 間隙を利用する河川性魚類の微生物場所特性—実験水路内での昼夜の生息場所利用観察—
○佐川志朗(土研自然共生セ)・矢崎博芳(岐阜県郡上土木)・秋野淳一・萱場祐一(土研自然共生セ)
- 63 9:30~ GISを用いた徳島県における外来魚カダヤシの潜在生息域の推定
○田代優秋(徳島大院)・佐藤陽一(徳島県博)・上月康則(徳島大院)
- 64 9:45~ マングローブ域は稚魚の成育場になっているのか? : 安定同位体比分析を用いた成育場評価
○中村洋平(東大海洋研)・堀之内正博(島根大・汽水セ)・渋谷拓郎(西水研石垣)・田中義幸・宮島利宏・小池勲夫(東大海洋研)・黒倉 寿・佐野光彦(東大院農)
- 65 10:00~ 河川中流域ワンド群の魚類生息場所環境評価手法に関する研究
○根岸淳二郎・佐川志朗・萱場祐一(土研共生センタ)

休憩 10:15~10:30

午前の部 10:30~12:00 (生態)

- 66 10:30~ 托卵種ムギツクにおける柔軟な繁殖戦術とその帰結
○山根英征・渡辺勝敏(京大院理)・長田芳和(大教大教育)
- 67 10:45~ ハナカジカの3つの産卵タイプ間における雄の子への保護期間と保護行動の比較
○熊谷雅之(地盤環境コンサ)・杉山秀樹(秋田県水産技術セ)・
後藤 晃(北大FSセ)
- 68 11:00~ 産卵時刻は摂餌移動距離で決まる—浮性卵を産む藻食性ブダイ類の種間比較
○桑村哲生(中京大教養部)
- 69 11:15~ メダカの産卵における放精数がライバル雄から受ける影響
○小池友香理(岐大院教育)・宗原弘幸(北大FSセ)・古屋康則(岐大教育)
- 70 11:30~ 千葉県館山市坂田の潮間帯に生息するコケギンポの繁殖生態
○村瀬敦宣・須之部友基(東京海洋大)
- 71 11:45~ クチバシカジカの繁殖行動:交尾種?それとも・・・
○阿部拓三(南三陸町自活セ)・佐藤長明(グラントスカルピン)・
宗原弘幸(北大FSセ)

午後の部 14:00~15:00 (卵・稚仔)

- 72 14:00~ 飼育下におけるクレナイニセスズメの繁殖と育成
○岡村峻佑(東海大学院海洋)・田中洋一(東海大海洋研)・山田一幸(東海大海洋博)・
高柳啓祐(セキスイハイム東海)
- 73 14:15~ 有明海湾奥部河口域におけるニベ科2種(コイチ, シログチ)仔稚魚の分布および
食性の比較
○八木佑太・木下 泉・上田拓史(高大総合研セ)・藤田真二(西日本科技研)・
久野勝利(佐賀有明水振セ)
- 74 14:30~ 沖縄島に定着したマダラロリカリアの繁殖習性と初期生活史
○嶋津信彦・立原一憲(琉球大・理)
- 75 14:45~ 東北沖から採集されたチゴダラ科浮遊稚魚の分類と分布
○岡本 誠・服部 努・岡崎雄二(東北水研)

休憩 15:00~15:15

午後の部 15:15~16:15 (卵・稚仔)

- 76 15:15~ 沖縄島中城湾に出現するドロクイ属仔稚魚
○堀 匡人・立原一憲(琉球大理)
- 77 15:30~ コイ科ラスボラ亜科魚類 *Parachela oxygastroides* 仔稚魚の形態形成
○佐土哲也(千葉中央博)・木村清志(三重大水実)
- 78 15:45~ 久慈川河口周辺海域におけるアユ仔稚魚の分布とその移動
○荒山和則・須能紀之・山崎幸夫(茨城内水試)
- 79 16:00~ ウミヘビ科ミミズアナゴ葉形仔魚の変態過程
谷山梨恵・○望岡典隆(九大院農)・道下 保・神田 猛(宮崎大農)

ポスター発表

(ポスターは、発表初日(10月6日)の午前中までに指定の場所に貼附し、2日間掲示。奇数演題の発表時間は、10月6日の13:00~14:00。偶数演題の発表時間は、10月7日の13:00~14:00。)

ポスター発表会場

- 80 サンゴアイゴに見られる遺伝的・形態的2型
○栗岩 薫(国立科博)・西田 睦(東大海洋研)・松浦啓一(国立科博)
- 81 紀伊水道外域より採集されたエボシダイ科スジハナビラウオ属の1種
○土居内龍・内海遼一(和歌山農総技セ)・中坊徹次(京大総博)
- 82 東部インド洋スマトラ島とジャワ島沖から採集された1未記載種を含むキホウボウ科魚類
○河合俊郎(国立科博)
- 83 インド・西太平洋域におけるハオコゼ科 *Liocranium* 属の分類学的再検討
○本村浩之(鹿大総合博)・Peter R. Last (CSIRO)・Jeffrey W. Johnson (Queensland Museum)
- 84 フサカサゴ科シロカサゴ属魚類の1未記載種
○山川 武(高知大理)
- 85 土佐湾から得られたクロユリハゼ科クロユリハゼ属の1未記載種
○片山英里・遠藤広光(高知大理)
- 86 Distribution of *Porocottus leptosomus* (Cottidae)
○Youn Choi・Zhen-feng Yang (KNU)・矢部 衛(北大)
- 87 北海道知床半島から得られたタウエガジ科ゴマギンボ属 *Stichaeopsis* の1未記載種
○楠目祐子(北大院水産)・高谷文仁(北大植物園)・矢部 衛(北大院水産)
- 88 タンガニイカ湖産カワズズメ科魚類 *Julidochromis* 属の形態学的2種群
○田城文人(北大院水産)・安房田智司(学振特研員)・仲谷一宏(北大院水産)
- 89 宮城県太平洋と北海道南部から得られたタウエガジ科の1未記載種
○山中智之(北大院水産)・阿部拓三(南三陸町自活セ)・矢部 衛(北大院水産)
- 90 日本産ニホンソコダラ属魚類の分類学的再検討(タラ目:ソコダラ科)
○中山直英・遠藤広光(高知大理)
- 91 骨格系との比較によるオキカジカ亜科魚類(スズキ目:カジカ科)の頭部感覚孔の再定義
○稲川 亮・矢部 衛(北大院水産)
- 92 八丈島(伊豆諸島)から採集された水玉模様をもつモンガラカワハギ科の1未記載種
○松浦啓一(国立科博)・瀬能 宏(神奈川県博)
- 93 ナガヘラザメ *Apristurus macrorhynchus* と *A. macrostomus* の分類学的再検討
○川内惇郎・仲谷一宏(北大院水産)
- 94 クサウオ科サケビクニン種群の形態的・遺伝的特徴
○甲斐嘉晃(京大FSERC)・坂井恵一(のと海洋)・中坊徹次(京大総博)
- 95 *Spottobrotula mahodadi* の成長に伴う体色変化
○護得久晋一郎・吉野哲夫(琉球大理)
- 96 八丈島から得られたヘビギンボ科ヘビギンボ属の1未記載種
○目黒昌利(鹿大水産)・瀬能 宏(神奈川県博)・鈴木廣志(鹿大水産)・原崎 森(森と海)・本村浩之(鹿大総合博)

- 97 オーストラリア海域から得られたヘラザメ属魚類の分類
 ○佐藤圭一（沖縄水）・仲谷一宏・笹原良平・川内惇郎（北大院水産）・
 Samuel P. IGLESIAS（フランス自然博）
- 98 ミトコンドリア DNA 解析に基づくキビナゴ属魚類リュウキュウキビナゴ *Spratelloides atrofasciatus* と
 キビナゴ *S. gracilis* の遺伝的差異
 ○石森博雄・吉野哲夫（琉球大理）
- 99 *Feia dabra* 種群（ハゼ科コナユキハゼ属）の分類学的再検討
 ○内野啓道・瀬能 宏（神奈川県博）
- 100 和歌山県と静岡県から採集されたミミズハゼ属の一種
 ○池田祐二（宮内庁）・玉田一晃（和歌山東陽中）・弓場武夫（田辺市）・藍澤正宏（宮内庁）
- 101 房総半島南岸より得られたコケギンボ科コケギンボ属の 1 未記載種
 村瀬敦宣（東京海洋大）・○藍澤正宏（宮内庁）・須之部友基（東京海洋大）
- 102 日本産フグ目魚類に寄生するカイアシ類の多様性及び宿主特異性
 ○上野大輔・大塚 攻（広島大院生物圏）
- 103 沖縄島産キバラヨシノボリのミトコンドリアゲノム全塩基配列決定と島嶼間における遺伝的差異
 の検討
 ○川口 亮（琉球大理）・西田 睦（東大海洋研）・吉野哲夫（琉球大理）
- 104 中央太平洋産シラスウオ属魚類の分子系統解析
 ○昆 健志（東大海洋研）・吉野哲夫（琉球大理）・西田 睦（東大海洋研）
- 105 淡水魚オイカワ地理系統の関東地方河川における混生実態
 ○高村健二・中原真裕子（国立環境研）
- 106 九州北部における移入淡水魚類の分布と現状
 ○中島 淳・鬼倉徳雄・栗田喜久（九大院農）・向井貴彦（岐大地域）・河口洋一（九大院工）
- 107 長野県千曲川で 16 年ぶりに発見されたウケクチウグイ
 ○北野 聡（長野環保研）・上原武則（長野女子短大）・坂野博之（中央水研）・
 宮坂 仁（愛媛大）・酒井治己（水産大）
- 108 多摩川河口干潟のタイドプールにおける魚類の分布と環境変量との関係
 ○加納光樹（自然研）・山根武士（海洋大）
- 109 東京湾湾奥部の運河における魚類の出現様式と生息環境
 ○宮崎佑介・茂木正人（海洋大）
- 110 九州北西部、有明海沿岸域のクリーク網における移入魚類の分布パターン
 鬼倉徳雄・中島 淳・江口勝久（九大院農）・三宅琢也・河村功一（三重大生物資源）・
 向井貴彦（岐大地域）・河口洋一（九大院工）・西田高志・乾 隆帝・○栗田喜久（九大院農）
- 111 沖縄島沖から得られた北太平洋初記録の希少ホタルジャコ科魚類 *Acropoma lecorneti* Fourmanoir, 1988
 ○山野上祐介（東大院農）・戸田 実（美ら海水族館）
- 112 魚類標本から見た琵琶湖内湖の原風景
 ○藤田朝彦（近大農）・西野麻知子（琵琶湖環境科学研究センター）・細谷和海（近大農）
- 113 主成分分析を用いたヤイトハタ稚魚の成長比較
 ○加藤雅也・伏屋玲子（水研セ西海水研）・狩俣洋文・木村基文（沖縄県水研セ石垣）
- 114 カレイ目魚類における中央側線神経の分岐パターン
 ○福田絵美・佐々木邦夫（高知大理）
- 115 淡水産・海産エイ類 4 種の口顎部筋肉の比較
 ○渋谷明美・Jansen ZUANON（INPA）・Maria ARAUJO（UFAM）・田中 彰（東海大海洋）

- 116 ダイコクサギフエの発育骨学
○高田陽子（国立科博）・吉田絵美（東京都）・佐々木邦夫（高知大理）
- 117 異なる地域間におけるクルマサヨリの形態および遺伝的比較
○服部昌美・中島 淳・田中岳人・兼頭 淳・江口勝久・西田高志・乾 隆帝（九大院農）・坂野大介（フロリダ州大医）・伴野 豊・鬼倉徳雄（九大院農）
- 118 鹿児島県指宿市に定着している外来魚カダヤシ科グッピー属の形態学的検討
○松沼瑞樹・鈴木廣志（鹿大水産）・高山真由美・原口百合子・本村浩之（鹿大総合博）
- 119 生息地間で異なるシナイモツゴの外部形態
○木村青史（本荘高定）・杉山秀樹（秋田農技セ水産）・伊藤 聖・宮崎絵梨（本荘高定）
- 120 シラスウオ属(*Schindleria*)魚類における卵の形態的特徴
○原 政子・昆 健志（東大海洋研）・仲村茂夫（琉大熱生研）・西田 睦（東大海洋研）
- 121 ドジョウの胚細胞核移植魚の形態と生殖能力
田中大介・高橋明人・○上野紘一（近大農）
- 122 土佐湾・横浪半島におけるイシサンゴ類2種へのチョウチョウウオ科稚魚の加入パターン
市場康之（高知大農）・○山岡耕作（高知大院黒潮圏）・平田智法・平田しおり（宇和島市）
- 123 大型糸状緑藻と付着藻類を与えたアユの成長の比較
○山本敏哉（矢作研）・水野 修・中根耕造・藤井芳秋・大岩謹次（天然アユ調査会）
- 124 産卵中に採集されたキビナゴの生物学的特性
○竹内直子（東海大海洋）
- 125 湧水性の保全池におけるホトケドジョウ (*Lefua echigonia*) の季節移動
○守山拓弥（整備センター）
- 126 北海道東部のイトヨ太平洋型における生活史変異
○北村武文（北大院水産）・後藤 晃（北大FSセンター）
- 127 自然史博物館におけるビデオ映像の整理・保管および活用—現状と課題
○川瀬裕司（千葉中央博・海）
- 128 沖縄島の河川汽水域に生息するミナミヒメハゼとヒメハゼの生活史
○川平 愛・近藤 正・前田 健・立原一憲（琉球大理）
- 129 沖縄島におけるヒトスジタマガシラの年齢と成熟および性転換
○秋田雄一・立原一憲（琉球大理）
- 130 安定同位体比から見た琵琶湖産アユの回遊行動多型
○酒井陽一郎（京大生態研）・武山智博（京大・院理）・荻部甚一・陀安一郎・奥田 昇（京大生態研）
- 131 カワバタモロコの生息環境因果モデル
○佐藤陽一（徳島県博）・田代優秋（徳島大院）
- 132 揖斐川下流域に生息するアベハゼの生殖周期
○高崎文世（岐大院教育）・伊藤 亮・向井貴彦（岐大地域）・古屋康則（岐大教育）
- 133 岐阜県におけるホトケドジョウの生息環境と生殖腺組織の季節変化
○古屋康則・細江達三（岐大教育）
- 134 ゆかし瀨におけるゴマハゼの分布と生息環境
○木村和世（岐大地域）・平嶋健太郎（和歌山県博）・向井貴彦（岐大地域）
- 135 九州中東部の北川感潮域におけるハゼ類数種の産卵場
○鬼倉徳雄・中島 淳・西田高志・乾 隆帝・江口勝久・中谷祐也・兼頭 淳・及川 信（九大院農）

- 136 三重県櫛田川水系産のシロヒレタビラの産卵母貝種選択とその要因
○前田 玄 (大教大院教育)・北村淳一 (京大理動物)・長田芳和 (大教大教育)
- 137 霞ヶ浦に生息する6種のタナゴ類の低溶存酸素耐性
○諸澤崇裕 (筑波大院生命)
- 138 福岡県福岡市多々良川河口で見つかったエドハゼの産卵場
○江口勝久・乾 隆帝・西田高志・中島 淳・鬼倉徳雄 (九大院農)
- 139 ギギにおけるオス間競争と繁殖縄張り
○鳥居千晴・久米 学 (三重大院生資)・森 誠一 (岐阜経済大)・原田泰志 (三重大院生資)
- 140 移植実験による生態的種分化の推定
○高橋鉄美 (京大院理)
- 141 恋の浦におけるアナハゼの行動範囲と産卵床
○西田高志・乾 隆帝・鬼倉徳雄・及川 信 (九大院農)
- 142 シロウオ日本海型・太平洋型・雑種群間における環境ストレス耐性の遺伝的変異
○高橋明香・小北智之 (福井県立大)
- 143 海藻の形成する構造は魚類の被捕食率を“常に”低下させるのか?
○堀之内正博 (島根大汽水研セ)
- 144 メダカ(*Oryzias latipes*)のサイズ選択的越冬死亡
○伊藤 忍 (弘大院農生)・太田昌志 (いであ)・東 信行 (弘大院農生)
- 145 ミヤベイワナの栄養段階の長期的変化: 安定同位体を用いて
○小林春毅 (北大FSC)・奥田 昇 (京大生態研)・前川光司 (北大FSC)
- 146 氾濫原内の河跡池沼群の変遷と生息魚類の消長
○桑原禎知 (Kon Photo-Res)
- 147 ウナギの生活史にともなった有害化学物質の蓄積特性
○池田葉子 (北里大院水産)・岡まゆ子・新井崇臣 (東大海洋研)
- 148 水槽飼育下で観察されたメコンオオナマズ *Pangasianodon gigas* の摂餌周期
○池谷幸樹・波多野順・谷村俊介・堀由紀子 (岐阜水族館)
- 149 ヒナモロコの生息現況と保護の方向性
○高久宏佑 (三重大院生資)・小早川みどり (九大理生物)・鬼倉徳雄 (九大院農)・大原健一 (岐阜県河川環境研究所)・細谷和海 (近大農)
- 150 河道形状の変化に伴うシシャモの産卵可能面積の予測
○八神鉄彦・荒木 隆・重村一馬 (建設環境研究所)・新居久也・米田隆夫 (北海道栽培漁業振興公社)
- 151 絶滅危惧種ヒナモロコの農業用水路内での分布と農事
○小早川みどり (九大理生物)・橋本哲男 (ヒナモロコ里親会)・高久宏佑 (三重大院生資)・細谷和海 (近大農)
- 152 熱帯性ベラ類ミツボシキュウセンの日周性と潮汐性
柴田よりこ・内村三幸・大屋玲奈・中島廣美・仲村茂夫・○竹村明洋 (琉大熱生研)
- 153 サクラマス (*Oncorhynchus masou*) 残留型による繁殖成功と無関係な食卵行動
○渡辺正宏・高村正造・前川光司 (北大FSC)
- 154 タカノハハゼとテッポウエビ類との種間関係
○坪井美由紀・坂井陽一・橋本博明 (広大院生物圏)
- 155 一夫多妻魚ホシゴンベは性転換できるのか?
○門田 立・光井知子・坂井陽一・橋本博明 (広大院生物圏)

- 156 日本と琉球列島の間で黒潮に隔てられているタイ科魚類集団の遺伝的構造
○千葉 悟・半澤直人 (山形大院理工)
- 157 インドー太平洋における *Uroconger* (Congridae) の遺伝的分化
○馬 涛・青山 潤・MILLER Michael J.・峰岸有紀 (東大海洋研)・
井上 潤 (フロリダ州大)・塚本勝巳 (東大海洋研)
- 158 チチブ属魚類3種のアメリカへの侵入起源の検討
○積山加奈・向井貴彦 (岐大地域)
- 159 日本産コクチバスの mtDNA 全塩基配列に基づく北米産との遺伝的比較
○佐藤千夏・向井貴彦 (岐大地域)
- 160 コイ科ヒガイ属にみる琵琶湖固有魚類の種形成メカニズム
○小宮竹史・渡辺勝敏 (京都大・院理)
- 161 琉球型メダカ集団における遺伝的攪乱の初事例
○今井秀行 (琉球大理)・米沢俊彦 (鹿児島県環境技術協会)・立原一憲 (琉球大理)
- 162 日本-琉球列島におけるマサゴハゼの遺伝的集団構造
○向井貴彦・早川明里 (岐大地域)
- 163 ミトコンドリア DNA 塩基配列分析に基づくアカザ *Liobagrus reini* の遺伝的集団構造
○中川 光・渡辺勝敏 (京大院理)・石川孝典 (栃木水試)・関 伸吾 (高知大農)
- 164 コイ科スゴモロコ類とデメモロコの形態変異と遺伝的集団構造
○柿岡 諒・渡辺勝敏 (京都大院理)・森 誠一 (岐阜経済大)
- 165 ミトコンドリアゲノム全長配列から推定されたソコダラ科魚類の系統関係
○佐藤 崇 (東大海洋研)・宮 正樹 (千葉中央博)・遠藤広光 (高知大理)・
西田 睦 (東大海洋研)
- 166 絶滅危惧種ミヤコタナゴにおける MHC 遺伝子多様性
○久保田仁志 (栃木水試)・渡辺勝敏 (京大院理)・渡邊精一 (海洋大)
- 167 スナヤツメ南方種における国内外来種による在来遺伝子プールの攪乱
○山野歩美 (富山大院理工)・横山良太 (北大FSセ)・武島弘彦・西田 睦 (東大海洋研)・
山崎裕治 (富山大院理工)
- 168 マイクロサテライト DNA 分析によるイタセンパラ河川集団の遺伝的変異性
○山崎裕治 (富山大院理工)・西尾正輝 (氷見市教委)・上原一彦 (大阪水生セ)
- 169 ISSR 分析によるハリヨの天然繁殖群および水族館飼育継代群の遺伝的多様性
○小林 徹・阿部 洋・柳下直己 (近大農)・松田征也 (琵琶博)
- 170 日本在来型コイの核ゲノムマーカーによる識別
○馬淵浩司 (東大海洋研)・瀬能 宏 (神奈川県博)・西田 睦 (東大海洋研)
- 171 河川型イワナ個体群間の卵サイズ変異
○亀甲武志 (滋賀県庁水産課)・原田泰志 (三重大生物資源)・竹内大介 (尾鷲市)・
甲斐嘉晃 (京大フィールド)
- 172 沖縄島の海岸および河川汽水域で採集されたハゼ亜目の仔魚の形態
○前田 健・山崎 望・立原一憲 (琉球大理)
- 173 駿河湾の陸棚斜面上部の近底層で採集された仔稚魚
○高見宗広 (東海大院海洋)・福井 篤 (東海大海洋)
- 174 天然養成または人工養成したカマキリ親魚から得られた仔稚魚の成長・生残
○田原大輔・谷川友里 (福井県大)・橋本 寛 (福井内水面)
- 175 秋季の東シナ海北部～日本海南部におけるウナギ目葉形仔魚の分類と分布
○高橋正知・望岡典隆 (九大院農)・品川汝夫 (下関短大)・後藤常夫 (日水研)

- 176 ダンゴウオ科ナメダンゴ (*Eumicrotremus taranetzi*) の稚魚の形態発達
日向野慎平 (旭川市)・○鈴木淳志 (東農大生物産業)・渡辺 昇 (ノシップ水族)
- 177 初期発生段階におけるイトヨ 2 型およびそれらの雑種個体の外部形態比較
○久米 学 (三重大院生資)・森 誠一 (岐阜経済大)・鳥居千晴・加藤雅之 (三重大院生資)
- 178 沖縄島サンゴ礁池に出現するベラ科, ブダイ科, ヘビギンポ科およびテンジクダイ科魚類仔稚魚の動態
○石原大樹 (琉球大院理工)・立原一憲 (琉球大理)
- 179 サケの視覚に関する雑感
○長谷川英一・鈴木俊哉 (水研センター)
- 180 成熟期におけるキチジの生殖腺
○松原 創 (東農大アクア)・佐藤光栄 (網走万泰丸)・鈴木淳志・伊藤雅夫 (東農大アクア)
- 181 松島湾産サンゴタツ *Hippocampus mohnikiei* における生殖腺形態と繁殖期の推定
○大塚 悠 (東海大院海洋)・鈴木宏易 (東海大海洋科学博)・川村 隆・澤木清人・大谷明範 (マリニピア松島水族館)・赤川 泉 (東海大海洋)
- 182 板鰓類 5 種の平衡砂の微量元素組成
○天野洋典・中村智巳 (東海大院海洋)・佐藤義夫・田中 彰 (東海大海洋)
- 183 水槽飼育下におけるメコンオオナマズ *Pangasianodon gigas* の頭部体色変化
○波多野順・池谷幸樹・谷村俊介・堀由紀子 (岐阜水族館)
- 184 横浜市のため池におけるミヤコタナゴの復元
○勝呂尚之 (神奈川内水試)
- 185 伝統漁法 雄物川のアユ「はね網」
○草薙利美 (自然科学)・杉山秀樹 (秋田農技セ水産)
- 186 Gobiopsis is not monophyletic: evidence from osteology
○Naomi DELVENTHAL (University of Manitoba) and Randall MOOI (Manitoba Museum)

2007 年度魚類学会シンポジウム

タナゴ亜科魚類の繁殖生態：適応的な産卵資源利用とその進化

(The reproductive ecology of bitterling fishes: adaptive host choice, mating tactics and evolution)

日 時：2007 年 10 月 8 日（月・祝） 9:00 – 17:00

場 所：第 1 会場（北海道大学国際交流会館 小講堂）

コンビナー：北村淳一（京大院理）・C. Smith（University of Leicester, UK）・

H. Liu（Chinese Academy of Sciences）

* このシンポジウムは全て英語で行われます。

1. (9:00-9:05) Opening address

Jyun-ichi KITAMURA (University of Kyoto)

2. (9:05-9:40) Introduction to the reproductive ecology and life history of fishes

Carl SMITH (University of Leicester, UK)

3. Mating tactics, mate choice and sperm competition of bitterling

1. (09:40-10:00) The evolutionary significance and adaptive function of pre-oviposition ejaculation

Yoshihiko KANO (Seifu High School)

2. (10:00-10:20) Sperm depleted males, sperm limited females and deceptive sexual signaling in the European bitterling (*Rhodeus amarus*)

Christopher PATEMAN-JONES (University of Leicester, UK)

3. (10:20-10:40) The effect of mussel density and spatial distribution on male mating tactics

Rowena SPENCE (University of Leicester, UK)

4. (10:40-11:00) Evidence of sexual conflict between male dominance and female mate choice in the rose bitterling (*Rhodeus ocellatus*)

Carl SMITH (University of Leicester, UK)

(11:00-11:20) <Break>

4. Taxonomy and phylogeography of bitterling

1. (11:20-11:50) Phylogenetic relationships of the bitterling fishes

Kouichi KAWAMURA (University of Mie, Japan), Takayoshi UEDA,
Ryoichi ARAI and Kenji SAITOH

2. (11:50-12:10) A morphological and genetic analysis of the European bitterling species complex

Shama ZAKI (Institute of Zoology, UK)

(12:10-13:10) <Lunch>

5. Adaptations of autumn-spawning bitterling

1. (13:10-13:35) Reproductive ecology and life history of an autumn-spawning bitterling *Acheilognathus typus*

Yasufumi FUJIMOTO (Miyagi Prefectural Izunuma-Uchinuma Environmental Foundation),
Jyunya KITAZIMA, Kentaro SINDO and Munehico IWATA

2. (13:35-14:00) Thermal adaptation during early developmental stages in the autumn-spawning bitterling

Kazuhiko UEHARA (Agricultural Food and Environmental Sciences, Research Center of
Osaka Prefecture, Japan)

(14:00-14:20) <Break>

6. The relationship between bitterling and mussel

1. (14:20-14:50) The coevolutionary relationship between bitterling and their host mussels

Martin REICHARD (Institute of Vertebrate Biology, Academy of Sciences of the Czech

Republic, Brno, Czech Republic)

2. (14:50-15:20) **Factors affecting host use among Japanese bitterling**

Jyun-ichi KITAMURA (University of Kyoto, Japan)

(15:20-15:40) **<Break>**

7. (15:40-16:05) **Bitterling fishes as models in behavioral and evolutionary biology: past research and future directions**

Martin REICHARD (Institute of Vertebrate Biology, Academy of Sciences of the Czech Republic, Brno, Czech Republic)

8. (16:05-16:35) **General discussion**

9. (16:35-16:40) **Closing comments**

Carl SMITH (University of Leicester, UK)

2007 年度魚類学会シンポジウム

世界の海水・淡水カジカ類における多様性, 適応と進化

(Diversity, Adaptation and Evolution in Freshwater and Marine Sculpins in the World)

日 時：2007 年 10 月 8 日（月・祝） 10:00 – 17:30

場 所：第 3 会場（北海道大学国際交流会館 第 1 会議場）

コンビナー：後藤 晃・宗原弘幸（北大 FS セ）

(10:10–10:35) コンビナーによる開催趣意説明

セッション I：生物多様性と進化

1. (10:10–10:35) 海産カジカ類の種多様性と表現型系統
矢部 衛（北大院水産）
2. (10:35–11:00) カジカ属魚類と類縁グループの分子系統と進化史
横山良太（北大 FS セ）・V.G. シデレワ（ロシア科学アカデミー）・
後藤 晃（北大 FS セ）
3. (11:00–11:25) バイカル湖のカジカ類の形態, 生態および分子進化
V.G. シデレワ（ロシア科学アカデミー）
4. (11:25–11:50) 淡水カジカ類の生態的多様性と生活史進化
後藤 晃（北大 FS セ）
5. (11:50–12:15) 海産カジカ類の多様性と繁殖様式の進化
宗原弘幸（北大 FS セ）

<ランチタイム (12:15–13:10)>

セッション II: 繁殖における生理的・生態的適応

6. (13:10–13:35) 雌が子の保護をするカジカ類における交尾戦略の多様性
阿部拓三（南三陸町自然環境活用センター）
7. (13:35–14:00) 海産カジカ類における精子の多様性と適応
早川洋一（国際基督教大）
8. (14:00–14:25) カジカ類における交尾型と非交尾型の生理的適応
古屋康則（岐阜大教育）
9. (14:25–14:50) 淡水カジカ類における異形精子の繁殖適応
田原大輔（福井県大）

<コーヒーブレイク(14:50–15:05)>

セッション III：生態的多様性, 進化および保全

10. (15:05–15:30) 河川性カジカ *Cottus pollux* における繁殖と生態多様性
棗田孝晴（富士常葉大）
11. (15:30–15:55) 海産カジカにおける保護行動の進化および卵サイズと卵塊
C.W. ペーターセン（アトランテックカレッジ, 米国）
12. (15:55–16:20) 降河回遊性ヤマノカミ *Trachidermus fasciatus* の繁殖生態と保全
竹下直彦（水大校生物生産）
13. (16:20–16:45) 北アメリカにおけるカジカ属魚類のマイクロハビタット利用および保全

G.D. グロスマン(ジョージア大, USA)・J.T. ペティ(ウエストバージニア大, USA)

セッションIV：(16:45-17:30) 総合討論

司会：後藤 晃・宗原弘幸

2007 年度魚類学会公開市民講座

北海道大学学術交流会館 2 階大講堂（第 2 会場），北海道大学，札幌市

10 月 8 日（月・祝） 10:00～16:30

川の自然生態系と在来魚を守る—知床を含む北海道の現状と将来

コンビナー：後藤 晃（北大 FS セ）・帰山雅秀（北大院水産）

共催団体：北海道淡水魚保護ネットワーク

I. 講演

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. ふるさとの魚，サクラマス | ト部浩一（道立孵化場） |
| 2. 知床半島の川とサケ類の現状と保全 | 帰山雅秀（北大院水産） |
| 3. 尻別川におけるイトウの生息状況と保護 | 平田剛士（フリーランス記者） |
| 4. 物質循環から見た森と川のつながり | 長坂晶子（道立林業試験場） |
| 5. 川と魚を対象とした環境教育 | 丸山博子（丸山環境教育事務所） |

II. パネルディスカッション

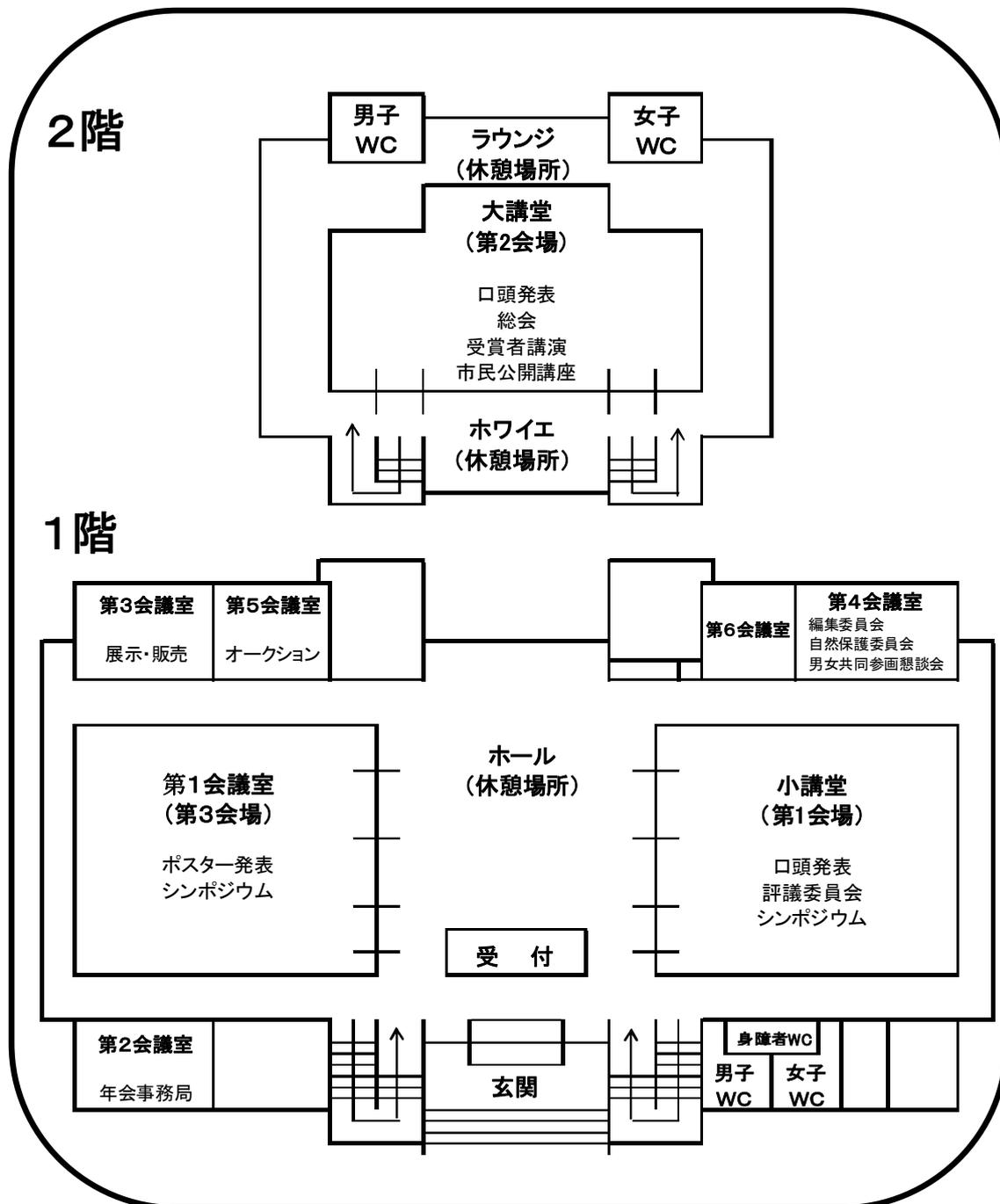
（話題提供）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 希少淡水魚の生息状況と保護施策 | 後藤 晃（北大 FS セ） |
| 2. ダムが北海道の淡水魚に与える影響 | 福島路生（国立環境研） |
| 3. 北海道における外来魚の問題 | 森田健太郎（水産総合研究センター） |
| 4. 魚の住める川への自然再生 | 中村太士（北大院農学） |

（総合論議）

司会：帰山雅秀（北大院水産）

会場配置図（北海道大学学術交流会館）



2007年度日本魚類学会年会

会場（年会，懇親会）へのアクセス

年会会場（学術交流会館）：JR札幌駅北口から徒歩5分。地下鉄南北線さっぽろ駅からは

JR 駅構内を経て北口へ。地下鉄北十二条駅から徒歩10分。

懇親会会場（北部食堂）：年会会場から大学構内を徒歩で（経路は下図参照）。

